

## プロとは何？

時速二〇〇キロ三〇〇キロでレーシングカーを走らせるプロのカーレーサーは、日常生活でも車をブイブイ走らせると思いきや、実際は逆だそうです。日常生活では、ルールを守って安全運転すること。プロレーサーだから普段も、と思うのは素人の勝手な決めつけのようです。

「プロ」とは、英語の「プロフェッショナル」の略。「専門的」という意味です。言葉にすると簡単になってしまいが、プロとノンプロには大きな違いがあると私は思います。その違いを、私は毎日目にしています。

私が毎日目の当たりにしているプロは、スクールバスのドライバーたちです。彼らは、大型二種免許というライセンスをもっており、大型自動車を運転して、人を目的地に運ぶ仕事を生業（なりわい）としています。

ここで誤解しないでください。大型二種免許を持っているからプロなのではありません。免許のあるなしではなく、仕事に向かう姿勢や、仕事に取り組む上でのプライドがプロなのだということです。

最近、横断歩道脇に生徒が立つと止まる車がずいぶん増えました。しかし、止まらない車もまだまだ多いようです。しかし、スクールバスのドライバーはさすがプロですね。必ずと言っていいほど止まってくださいます。私はそのときに、プロを感じています。

多くの生徒を乗せ、これから勢いをつけて坂を一気に上がりたいと思えるときでも、必ず止まってくださいます。生徒を降ろし、校門を出たときは、横断しそうな生徒がいるとスピードを上げずにゆっくり坂を下りてきてくださいます。中には、横断者の姿がないときにも横断歩道の手前で減速したり、指さし確認をして通過したりするドライバーもいらっしゃいます。

運転の仕方を見れば、歩行者を大切にしているかどうかがよくわかります。取得が難しい免許を持っているとか、運転テクニックが優れているとかではありません。仕事として何を大切にして取り組んでいるか。仕事のどこにプライドをもっているのか。それがプロかどうかの境目だと私は思います。

今日のメッセージは、中学生の皆さんにはピンとこないものだったかもしれませんね。でも、近い将来に、わかる日が来ることでしょう。皆さんはこれからいろいろな仕事に興味を持つことでしょうか、皆さんはどんな方向に進んでも「これぞプロ！」と言えるようになってください。プロには儲（もう）けよりも大切なものがあるのです。それは一体何でしょうか。みつけてください。進路の勉強になったかな。

（二月十六日 記）